

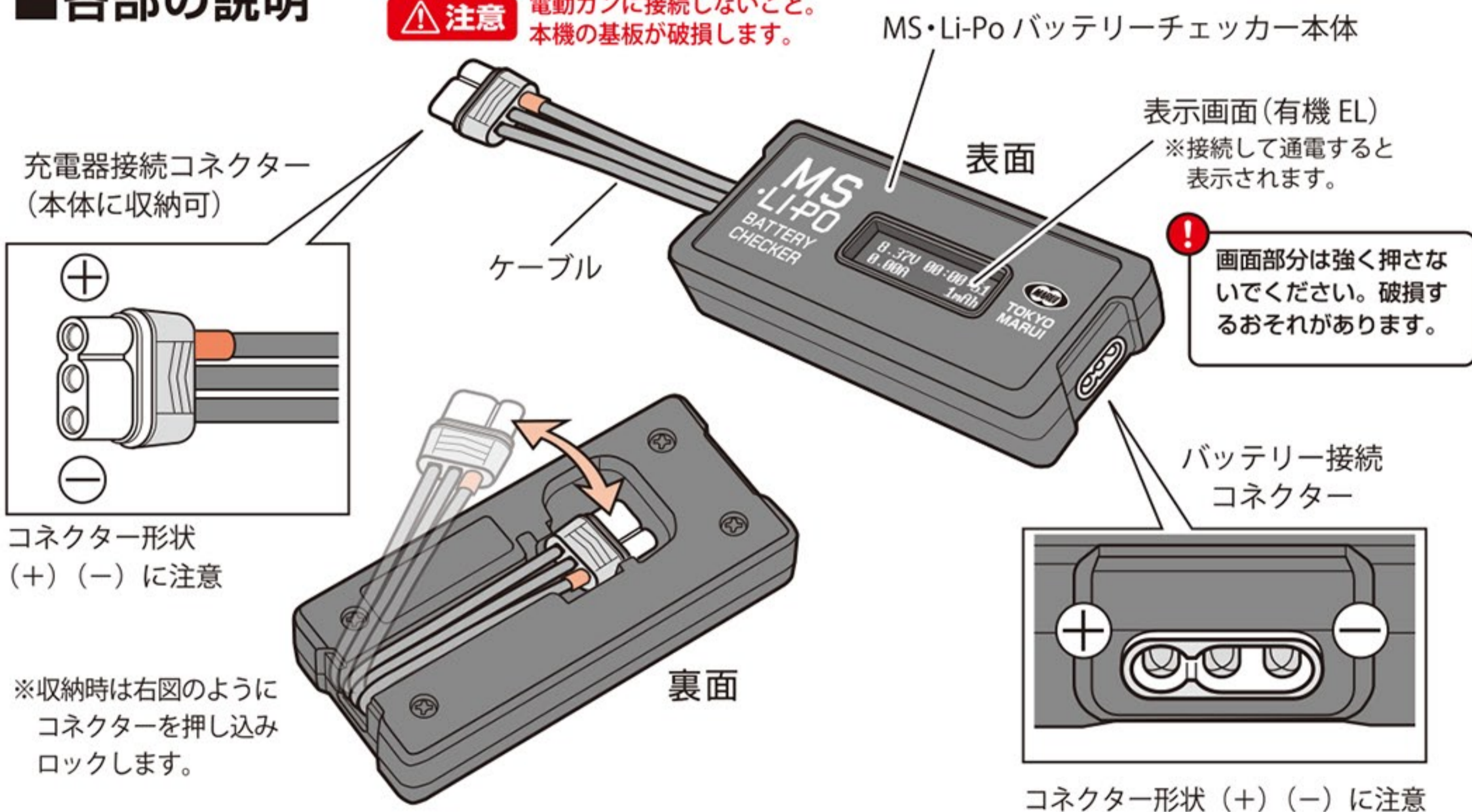
## 〈 取扱い説明書 〉

ご使用前に「MS・Li-Poバッテリー」及び「MS・Li-Poセーフティチャージャー」双方の取扱注意・説明書と併せて最後まで必ずお読みください。

本製品は、別売の当社製「MS・Li-Po バッテリー」、「MS・Li-Po セーフティチャージャー」の詳細な数値データをモニタリングするために開発された専用のチェッカーです。バッテリーチェッカーの接続で、バッテリー電圧、充電電圧、充電電流、充電容量、充電経過時間等がデジタル表示でチェック可能になります。

### ■各部の説明

**注意** 電動ガンに接続しないこと。  
本機の基板が破損します。

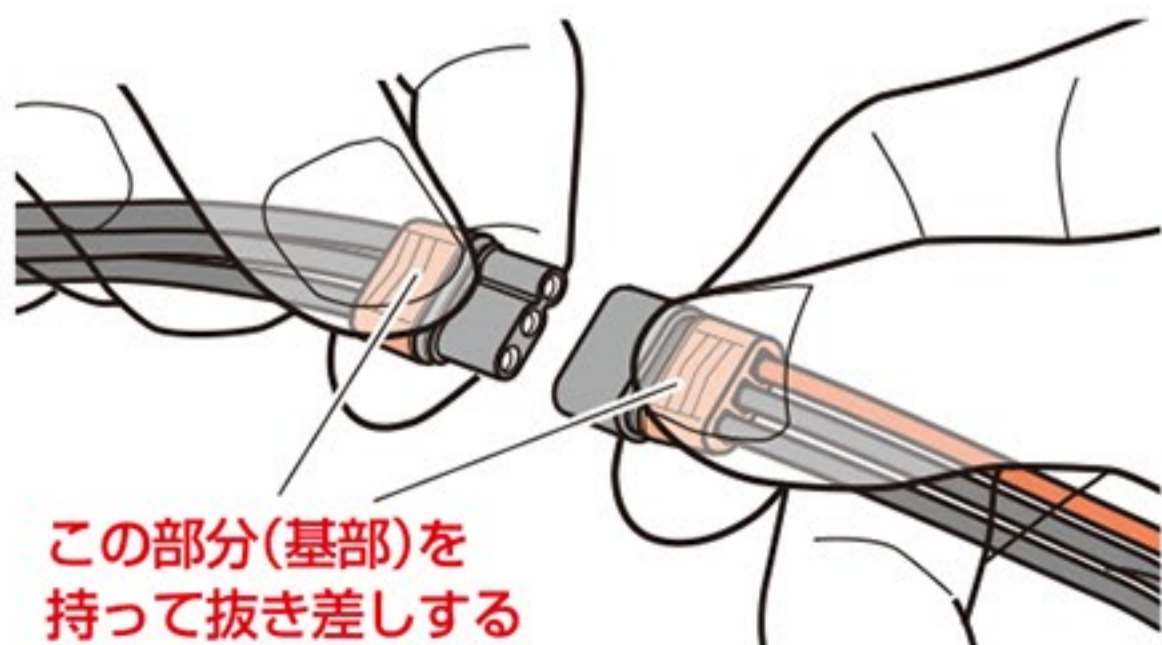


※収納時は右図のようにコネクタを押し込みロックします。

コネクタ形状 (+) (-) に注意

### 警告 コネクタ脱着時の注意

コネクタの抜き差しは、必ず図のように、**■部分 (基部)** を持って行うこと。ケーブルや被覆を引っ張ると、断線したり芯線が剥き出しになる場合があり、ショート等の原因となり大変危険です。



### ワンポイントアドバイス 機器からコネクタを抜く場合

- ①コネクタの**■部分 (基部)**をしっかりとって
- ②チャージャー側を引いて外す

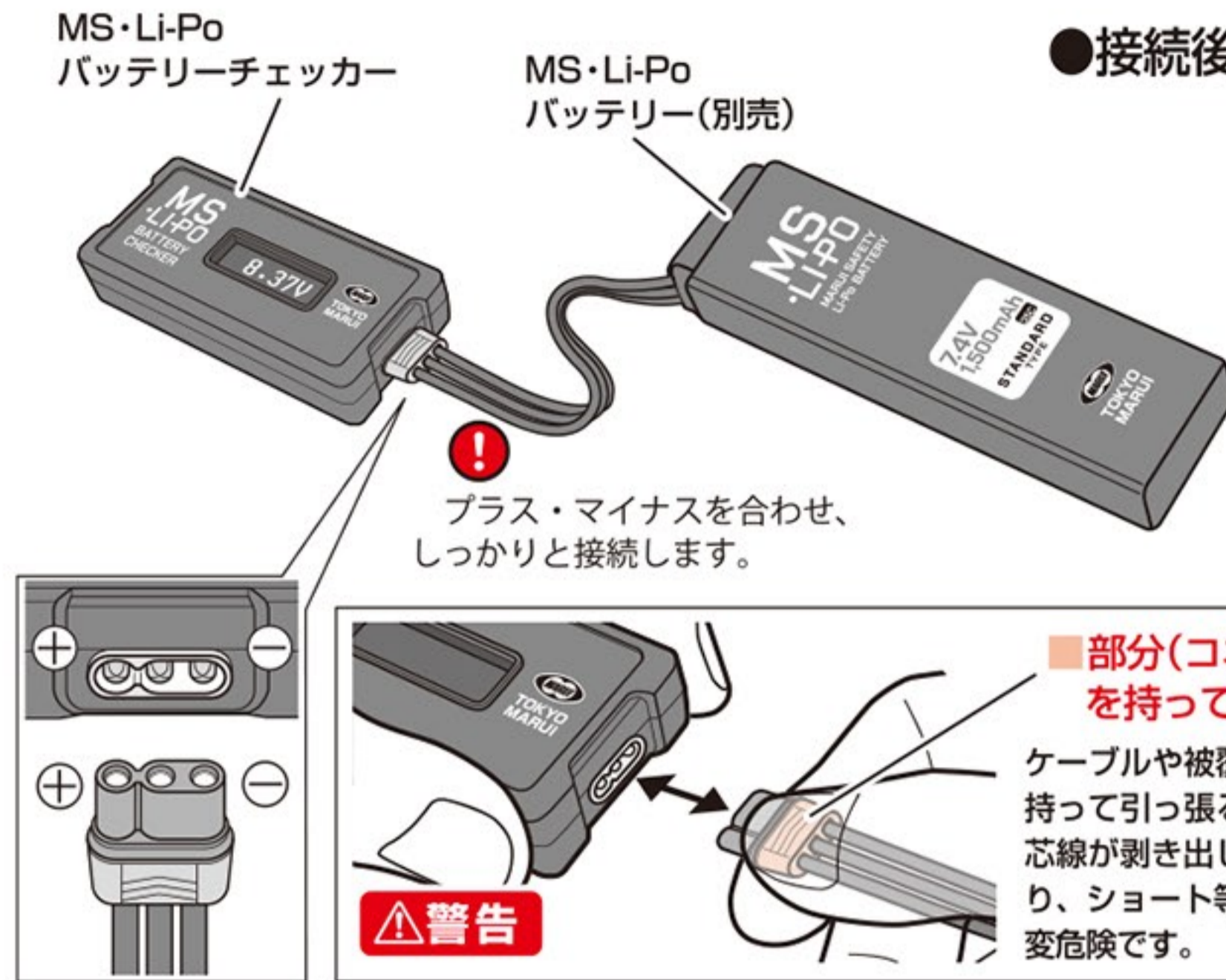


※チェッカーからバッテリーコネクタを抜く場合も同様です。

# 1 バッテリー電圧をチェックする場合

●本機にバッテリーを接続します。

※「MS・Li-Poバッテリー」説明書も合わせてお読みください。



●接続後、バッテリー電圧を 10 秒間表示します。

8.37V

●バッテリー電圧の表示例

▶接続後、10 秒間電圧表示し、その後画面 OFF となります。

※接続し直すことで再度 10 秒間表示します。

●保管時は 2 ヶ月に一度の電圧チェックを推奨します。保管時のバッテリー適正電圧は 7.4V~7.8V 程です。

※適正範囲から外れている場合はチャージャーのストレージモードにて調整可能です。(チャージャーの説明書参照)

# 2 充電(ストレージ充電時含む)電圧、電流、容量、経過時間をチェックする場合

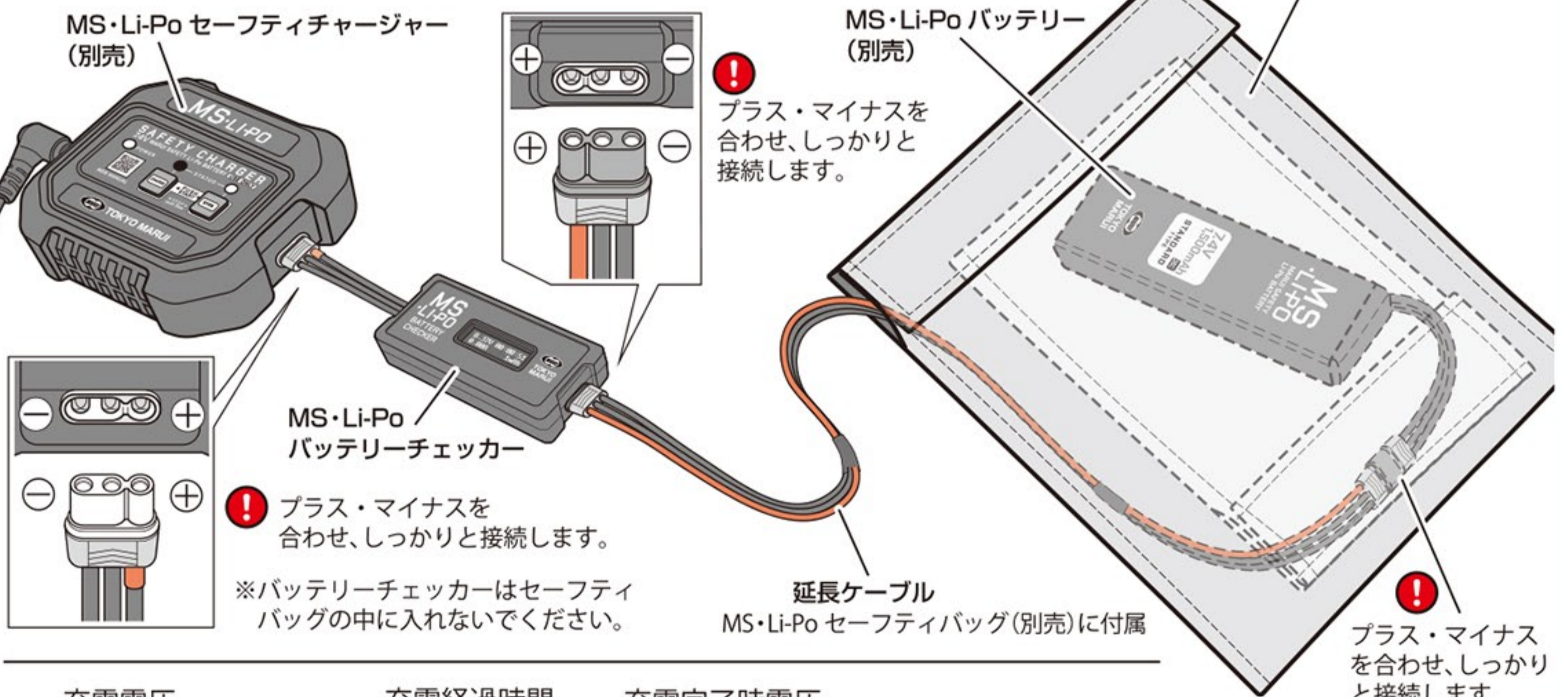
※ストレージモードは、充電・放電を任意に選択することはできません(バッテリー電圧によって自動選択となります)

●「MS・Li-Po セーフティチャージャー」に本機とバッテリーを接続し、チャージボタン、またはストレージボタンを押します。

▼「MS・Li-Poセーフティチャージャー」説明書を参照の上、下図のように接続します。充電及びストレージ充電時は、下図Aのように「4項目の表示」となります。

※ストレージ放電が自動選択された場合は、次項 3 をご覧ください。

充電時・ストレージモード時は万が一のバッテリー発火に備えて、必ず当社製MS・Li-Poセーフティバッグ(別売)に入れて行ってください。



充電電圧

充電経過時間

充電完了時電圧

図:A

7.93V 00:11:14  
1.04A 195mAh

8.37V 00:53:51  
0.00A 1371mAh

▶充電完了 5 分後に画面表示 OFF となります。

充電電流

●充電時の表示例

充電容量

●充電完了時の表示例

※充電電流・充電容量は計算による理論値です。

# 充電/放電中に発煙・発火が発生した場合の対処について

- 自身及び周囲の安全を確保した上で、安全に取り外しが可能な場合は、コンセントからACアダプターを取り外し、周囲に可燃物がある場合には、すぐに可燃物を離れた場所に移動させます。
- 万が一、セーフティバッグから発火している場合は大量の水をかけ、消火すると共に 119番通報を行ってください。

**⚠注意** 室内で発火し、炎が発生した場合、排煙・換気のための窓開けは空気・風の流入による延焼の可能性があります。換気のための窓開けは慎重に行ってください。

※一度発煙・発火したバッテリーは絶対に充電器や銃に取り付けての使用は行わないでください。

※発煙・発火したバッテリーは、各地方自治体の規則に従って処分してください。

## ●MS・Li-Poバッテリーを長く安全に使用するためのアドバイス

できるだけ満充電状態を維持しないように使用する。

充電後はすぐに使用する。使用しない場合はストレージモードを行った上で保管する。

Li-Po バッテリーは、満充電状態が最も内部で化学反応が起こります。使用直前に充電し、充電後はすぐに使用するのが理想的です。使用しない場合は、専用充電器でストレージモードを行った上で保管するようにしましょう。

できるだけ満充電状態を維持しないように使用するのが Li-Po バッテリーの劣化を抑え、長持ちさせるポイントです。

満充電から過放電防止機能が作動する下限電圧までを頻繁に使い続けない。

バッテリーの寿命を短くする原因となります。

過放電防止機能が作動する前に使用を中止し、充電するようにしましょう。

使用しない場合は、専用充電器でストレージモードを行った上で保管するようにしましょう。

満充電状態で高温下（40℃以上）に放置はバッテリー膨れの原因に。

一度膨れたバッテリーは元に戻らず、本来の性能を発揮できなくなります。

Li-Poバッテリーの膨れの原因は、満充電状態で高温下（40℃以上）に放置した場合が多くを占めます。たとえ、1～2日程度でも膨れが発生する場合があります。性能の維持と安全に使用していただくためにも、使用しない場合は、専用充電器でストレージモードを行った上で保管するようにしましょう。

※ニカドバッテリーは、一度完全に放電した後に充電することで、充電容量を回復できるリフレッシュと呼ばれる行為がありますが、Li-Po バッテリーは一度劣化してしまうと、リフレッシュなどで容量を回復することはできません。

※膨れたバッテリーは発煙・発火の危険があります。使用や放置をしないで適切に処分してください。